

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

5月

May 2026



「練込青瓷暁水指 明星溜塗蓋 (宗哲・蘇山)」

●会期:5月20日(水)～25日(月)

千家十職 塗師 十三代 中村 宗哲 展

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:5月6日(水・休)～11日(月)

木工 藤井 慎介展

藤井慎介先生は、1968年 静岡県生まれ。1991年 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後に建築設計業務に従事していました。その後、木工への興味から長野県松本技術専門学校で学び、2000年 静岡県裾野市に工房を構えました。木工の中でも「削りもの技法」に惹かれ、自らが追い求める造形と質感を表現されています。

横浜高島屋での初個展となります。



「櫛アームチェア」W62×D60×H75cm
「櫛サイドテーブル」W35×D35×H63cm

●会期:5月13日(水)～18日(月)

奏彩 IV — 7つの視点 — 〈洋画〉

会派を越え、真摯に表現と向き合う7名の洋画家を主要メンバーとしたグループ展。世代を越えそれぞれの信念や情熱が様々に響きあう中で、画家として「描くことへの姿勢」を個々人の視点を通じて色彩豊かに表現される作品を一堂に展観いたします。

【出品作家】(敬称略)

櫻井 孝美・山内 滋夫・横森 幹男
傍島 幹司・福島 唯史・村上 弘人
山本 靖久



山本 靖久 「森の王様」37.2×28.2cm
カゼインテンペラ、アクリル、墨、金箔、銀箔、越前麻紙、綿布、板

赤膚焼 尾西 楽齋 作陶展

尾西楽齋先生は1963年奈良県に生まれ、祖父五楽齋に師事されました。兄・七代楽齋とともに制作を行い、2018年八代楽齋を襲名。花器を中心に奈良絵をはじめとした茶道具を展観いたします。豊臣秀長ゆかりの地、奈良の大和郡山にて制作される素朴で上品な作品をご高覧ください。



「薬師寺東塔基壇土鉄釉窯変茶碗」
φ12.5×H7.7cm

●会期:4月29日(水・祝)～5月4日(月・祝)

Three senses —しなやかな色彩— 〈洋画〉

白日会を中心に活躍する、果酬季乃子・長谷川晶子・吉住裕美3名によるグループ展。カタチとしてそして色彩として、芯がありつつも柔軟性をもった「しなやかさ」をテーマにそれぞれの個性を活かし、色とりどりの作品で華やかに展覧いたします。



吉住裕美「flower」27.3×22.0cm
(3号F)キャンバス・油彩

丸山 祐介・かねおや あつし 作品展 〈工芸〉 — メイドイン ヨコハマ —

丸山祐介
「水辺の景色」
H5×W9×D9cm



かねおやあつし
「Avatar#147」
H14.5×W11.5
×D6.5cm

丸山祐介先生は、2002年 広島市立大学大学院芸術学研究科を修了後、2010年より横浜美術大学で教鞭を執られ、さらに金属造形作家として活動されています。かねおや あつし先生は、2015年 横浜美術大学美術学部美術学科工芸領域クラフトデザインコースを卒業後、アニミズムをメインテーマに目に見えない存在達を可視化させるイメージを「かぎ針編み」で表現されています。

●会期:5月6日(水・休)～11日(月)

— 風を編む — 狩俣 公介 展 〈日本画〉

1978年千葉県出身。東京藝術大学大学院博士課程を修了後、院展を中心に活動されています。今展では、「風を編む」と題し、一瞬の情景を独自の感性で鮮やかに切り取り、モノトーン調の色彩でシャープに描いた新作20余点を展覧いたします。



「潮騒」45.5×53.0cm(10号F)紙本彩色

●会期:5月20日(水)~25日(月)

千家十職 塗師 十三代 中村 宗哲 展



「日ノ出鶴蒔絵雪吹」

千家十職 塗師である中村家は長きにわたり受け継がれてきた美と歴史ある利休形を守り続け、また、その時流に応えるべく艶めく漆の魅力を追求して来られました。2006年に十三代を襲名されたご当代10年振りの横浜高島屋での今展では、古から親しまれる吉祥文様を中心に新たに挑戦された新作を加え、たおやかな潤いを纏う、気品溢れる貴重な作品の数々を一堂に展覧いたします。

●会期:5月27日(水)~6月1日(月)

— 四季綴り — 野地 美樹子 日本画展

野地先生は、奈良県出身。東京藝術大学デザイン科および同大学院修士課程(中島千波研究室)を経て、同大学院文化財保存学専攻保存修復日本画を修了。在学中より数々の成果を残し、現在も個展・グループ展と精力的に発表を続けています。高島屋において初個展となる今展では、「四季綴り」と題し、柔らかな春の陽射しから夏の深い新緑、そして秋の鮮やかで色彩豊かな紅葉から冬の静かな情景へとしとやかに流れてゆく暦の変容を一堂に展覧いたします。



「群緑の夏」27.3×41.0cm
(6号P)紙本彩色

■野地美樹子先生によるギャラリートーク ●5月30日(土)午後3時から

※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご確認ください。

美術工芸サロン 橋詰 正英 清涼のうつわ展

6月の予告

- 会期:6月3日(水)~8日(月) 入江 明日香 展<絵画>
- 会期:6月10日(水)~15日(月) 天野 裕夫 展<彫刻>/渡辺 国夫 展<陶芸>
- 会期:6月17日(水)~22日(月) 藤田 潤 展<硝子>/永井 夏夕 展<絵画>
- 会期:6月24日(水)~29日(月) 澤 克典・山口 真人 二人展<陶芸>/末松 由華利 展<洋画>